



あいさつ

沖縄県 子ども生活福祉部
部長 宮平 道子

第62回沖縄県身体障害者福祉展の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

福祉展関係者の皆様におかれましては、障害のある方々の福祉の向上のため、日頃から様々な活動を行われていることに対し、深く敬意を表しますと共に、福祉展開催にご尽力いただきましたことに心から感謝申し上げます。

この福祉展は、障害のある方々が取り組んでこられた作品を一堂に展示し、文化芸術活動を通して、障害のある方々に対する県民の理解と関心を高めるとともに、社会経済活動への参加を促進することを目的に毎年開催されております。

昨年度はコロナ禍の中で、会場で直に鑑賞する機会を設けることができませんでしたが、今年度は中城村のご協力をいただき、護佐丸歴史資料図書館で来場者の皆さまをお迎えできること、あわせて、会場及び作品の様子をオンラインで配信するバーチャル福祉展を実施し、直接会場に足を運ぶことができない方々への配慮が行われていることに対し、心から感謝申し上げます。

ご来場の皆さまにおかれましては、障害のある方々が日頃から懸命に取り組み、本日の福祉展に向け完成させたすばらしい作品をご覧いただき、出品された方々の情熱や創造力を感じていただきたいと思います。

また、出品された皆さまには、今後とも創作活動等を通して、自分を表現する喜びを大切に、積極的な社会参加へとつなげていただくことを期待いたします。

さて、沖縄県では障害者施策を積極的に推進していくため、令和4年3月に「第5次障害者基本計画」を策定しました。同計画に基づき、障害のある方々が地域社会の一員として、生き生きと暮らすことができるよう、市町村をはじめ関係機関や各団体と連携しながら様々な取組を推進して参りますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

結びに、福祉展に関わってくださった皆さまの益々のご健勝を祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。